

ご存知ですか？

水銀灯2020年にも全面禁止へ！

国境を越えて広がる水銀汚染と健康被害を防ぐため、国連環境計画 (UNEP) が水銀の輸出や含有製品の販売を原則として禁じる条約(水銀条約)の素案をまとめました。日本を含む140カ国で2013年から段階的に水銀灯を廃止し、早ければ2020年にも全面禁止とする見通しです。(※日経産業新聞 H24.10.5 掲載)

現段階で移行推奨されている、セラミックメタルハライド(セラメタ)、メタルハライド(メタハラ)にも水銀が使われています。水銀が使われているランプは世界規模で使用禁止が見込まれているため、数年で廃止になると考えられます。

解決の鍵

水銀灯消費電力の**最大3分の1～5分の1**になる、**LED照明**への切り替えを!!



「LED照明にしても良いけど、
取替費用が経費で落ちないなら嫌だなあ・・・」

国策

水銀灯から水銀灯タイプLEDへの取替費用は
①原則的に「修繕費」として処理してよい！！
②資産計上して減価償却・・・は、しなくて良い

早期対応

消費電量は大きく、頻繁に取替え工事が必要な
水銀灯から、水銀灯タイプLEDへ取替え！
①水銀灯400Wの明るさを確保しながら、消費電力80Wクラスへ
②ご使用水銀灯が多ければ多いほど、「使用電力料金」が格段に下がりますので、投資回収年数は短くなります。(調査シミュレーションします)

リース契約も可能です！

